

## 現状

- 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（令和4年12月閣議決定）において、職業訓練のデジタル分野の重点化等により、令和8年末までに政府全体で230万人のデジタル推進人材を育成することとされている。
- このような中、生成AIをはじめとする新技術が日進月歩で発展している状況である。
- 職種別有効求人・求職状況を見るとIT関連の職業では東京都内で有効求人数24,030人、有効求職者数8,202人（令和7年12月末現在）となっており**求人倍率は2.93倍と人手不足な状況**にある。
- また、**IT業界以外の各業界においても、DX人材の獲得・育成が必須**となりつつある。

## 課題

- 東京都においてはIT分野の職業訓練に力を入れており、令和6年度の実績では全コース数の16%にあたるコースをIT分野の訓練として1,875人が受講したが、定員充足率は66%であり、就職率は60%に達せず低調な分野となっている。
- 主な原因としては**企業が求める人材と訓練カリキュラムや受講生のスキルにミスマッチが生じている**ことが推測される。

## 提案

上記現状、課題を踏まえ、より求人ニーズに即した訓練内容としつつ、職業訓練によるIT分野の人材育成、人材供給に対応するため、令和8年度は【IT分野】の職業訓練を効果検証の対象とすることを提案します。



## 効果検証にあたって

訓練実施機関、訓練修了生、就職先企業にヒアリングを実施し、既存の訓練カリキュラムに加え、現在のIT業界で求められている最新の資格、知識、技能等について訓練期間（短期、中期、長期）ごとに聞き取りを行い、業界未経験者においても関連職種へ就職する為に必要な取組みの検証、改善策の探索を行い、受講者数の増加・就職率の向上を目指す。